

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	広島県	市町村名	呉市	大学名	
派遣日	令和5年7月5日(水曜日) 10:30~14:00 10:30~11:00 事前打合わせ 11:05~12:00 外国人児童生徒等教育に係る研修会 講演 (合同校長会) 13:00~14:00 外国人児童生徒等教育に係る研修会 (指導主事等研修) ※詳細は別添実施要項				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 派遣 / 遠隔				
派遣場所	呉市役所751~754会議室 呉市役所402協議室				
アドバイザー氏名	市川 昭彦 (文部科学省外国人児童生徒等教育アドバイザー)				
相談者	呉市教育委員会 学校教育課				
相談内容	<p>① 学校の受入体制 校内の指導体制(取り出し指導, 入り込み指導等)の在り方について 日本語指導担当者とその他の教職員の連携の在り方について</p> <p>② 具体的な指導方法について 外国人児童生徒の実態に応じた日本語指導の進め方について 教科と日本語の統合学習の具体的手法(教材の工夫等)について</p>				
派遣者からの指導助言内容	<p>① 現状と近未来への課題について</p> <ul style="list-style-type: none">・日本人労働力の減少と外国人労働者の受け入れに係る規制緩和により, 日本語指導が必要な児童生徒は今後増えていくとともに, 言語も多様化していく。・高等学校等における日本語指導の制度化について, 外国人生徒への日本語指導を高等学校で正式単位として認める方針が固まっている。 <p>② 「外国人児童生徒受け入れの手引き」をもとにした, 管理職の役割について</p> <ul style="list-style-type: none">・担任や担当を孤立させないために, 保護者との連絡方法を工夫したり, 長期の休みを利用した小さな保護者会を開いたりする。・研修を企画するなど, 組織的に取り組む。・地域やボランティアと連携・協働の体制づくりを進める等, 地域と学校をつなげる。・児童生徒や保護者に日本の学校の様子を伝えたり, 保護者の立場になって, 編入の手続きを進めたりして, 児童生徒に寄り添う。・日本語指導の環境を整える。 <p>③ JSLカリキュラム実践例より</p> <ul style="list-style-type: none">・単に日常的な会話の力ではなく, 学習に参加するための力が必要とされる。・JSLの5つの支援(情意支援, 理解支援, 表現支援, 記憶支援, 自律支援)の,				

(様式3)

	<p>教科指導における支援の実際と、在籍学級でできる支援の具体例。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学年差を意識したグルーピングによる自尊感情の向上。・ 自我の形成と教科学習の大切さ。
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<ul style="list-style-type: none">・ 外国人児童生徒等の受け入れ体制や、日本語指導の実際について、各学校の管理職の理解が深まった。・ 対象の児童生徒が在籍する学校の管理職は、担当や担任が孤立しないよう、日本語指導担当者と連携し、校内指導体制を充実させていく。・ 指導主事は、日本語指導について理解を深めることができた。今後、日本語指導に関する指導・助言を積極的に行い、日本語指導体制を充実させていく。